



コロナ禍の現況をふまえての大事なお知らせです！

コロナ禍の現況及び今後の見通しをふまえて、年度初めにお示しした教育活動等の日程・内容の変更や中止等について新たな判断をいたしましたので御説明します。

現況及び見通し

<コロナ禍の学校教育> 都内公立学校（小・中学校、高校、特別支援学校）全般の状況としては、散発的な感染発生はあります。そうした中においても特別支援学校では、更に感染が少ない状況を維持できています。

<成人のワクチン接種> 各区市町村では、65歳以上の方から始まって対象年齢を下げながら、拡大している最中です。併せて基礎疾患を有する方や高齢者・障害者施設等従事者にも接種が始まっています。教職員を含む学校従事者への接種についての具体的な動きはまだありませんが、いずれ対象となると期待しているところです。

<児童・生徒のワクチン接種> 厚労省では認可ワクチンの種類によっては、12歳以上であれば接種できるとしています。これを受けて他県の区市町村によっては、12歳以上となる中学生に対し、保護者に意思確認の上で希望者には接種開始とのニュースも流れています。

こうした事から推測すると、当分の間は小学校段階の児童は対象とならないと思われます。本校には小学部があり、多数の小学部生が在籍していますので、ワクチン接種率が向上したとしても、学校としての感染予防を今後もしっかりと継続していく必要があります。

<オリンピック・パラリンピック開催時期の状況> ワクチンの接種率がまだ十分に高まっていない中で開催時期を迎える事になりそうです。開催期間中とその前後は、予期せぬ交通混雑や幹線道路の通行規制も予想されます。

併せて、大会を円滑に進行させるとともに感染拡大とまらないように、主催地区である東京都の（教員を含む）全職員には、公共交通機関の利用抑制や不要不急の外出・出張等の自粛が求められる可能性があります。

こうした諸般の状況をふまえ、次にあげる教育活動等の計画を見直しましたので、御説明します。

<変更> 1学期末全校保護者会を分散開催に

年間行事予定表では、7/16(金)に全校保護者会を予定していましたが、4月時と同様に3学年ずつに分け

て分散開催(会場参加に加えZoomによるオンライン方式を併用)とします。前回好評だった来校された学年保護者間の連携タイムも確保します。変更後の日程は以下のとおりです。7/13(火):S小低、7/14(水):S小高、7/15(木):S中、7/16(金)午前:S高、7/16(金)午後:本校B。詳細は別途御案内します。(分教室拠点の保護者会開催の際は、別途御連絡します。)

<中止> 7/17(土) がやがや夏祭り

例年、PTAが実行委員会方式の主催組織を立ち上げ、会場となる学校が全面協力して開催してきた「夏祭り」ですが、PTA会長・副会長の皆様と校長で協議し、「昨年同様、今回もやむなく中止」との判断を致しました。理由としては、対策を講じたとしても会場が密となる可能性があること。また、参加者から陽性者が発生した場合、濃厚接触者の特定が困難となり、学期末を含むその後2週間の学校活動が全面休止となるリスクが生じることです。2年続きの休止となりますが、安心できる時の到来を待って再開し、存分に盛り上がりましょう。

<中止> 夏休み中のS部門対象の水泳教室

年間行事予定表で7/26(月)~7/28(水)、8/3(月)~8/25(水)の期間中に、本校プールを利用して各学部2回予定していた「S部門対象の夏休み水泳教室(任意参加)」は、感染予防を優先して1学期中の水泳指導と同様に、中止と致します。

<変更> S訪問の集いは2学期に延期へ

年間行事予定表では、7/29(木)に予定していた「訪問の集い」(本校S部門在宅訪問学級を対象として学校を会場に計画していた学園生と家族が参加する行事)及び保護者会は感染予防の観点から、2学期に延期し、小グループに分けてのオンライン型で開催できるように再計画します。詳細は今後お知らせします。

<中止> 7/30(金) 寄宿舎:夏の行事

終業式から10日後の7/30(金)に、両部門の寄宿舎を利用する学園生を対象に予定していた恒例の「夏の行事」ですが、B部門の学園生の居住地が都内全域にわたり、片道2時間かかる生徒も複数いる実態を踏まえ、オリンピック期間中の公共交通機関利用の混雑リスク・感染リスクを避けるために、今回は中止とします。

＜中止＞ 2学期の本校プール利用の授業

前ページでお知らせしましたとおり、1学期並びに夏休み期間中と同様に、感染予防を優先して9/2(木)～10(金)の2学期の本校プールを用いたS部門の授業(各学部1～2回を想定)を中止いたします。

＜変更＞ 9/10・11の防災宿泊訓練は日中型に

3・11を教訓に、毎年、全都立特別支援学校で学年を指定して必ず実施している大事な訓練です。今回、コロナ禍の現況を踏まえ、2学期に計画している学校は、学校での宿泊型ではない日中活動型で行うようにとの指示が都教育委員会からありました。この指示を踏まえ、本校では両部門中1学園生を対象に予定していた**宿泊訓練を9/10(金)のみの日中訓練に切り替えます**。下校時刻は金曜の平常通りです。詳細は後日お知らせします。

＜変更＞ S・B中高の修学旅行は「日帰り型」に

各学部での教育活動の節目となる中3・高2の修学旅行だけは実現したいとの願いを含めて、年間行事予定表に組み込んで計画していましたが、現況を踏まえ、**やむなく日帰り型の校外学習に切り替えます**。

＜理由＞所管課とも情報交換したところ、移動中も含めて参加者が37.5°以上の発熱を生じた場合は、速やかに感染の可能性を前提とした受診(感染症外来)が必須となり、当然その時点から担当教員を固定化して別行動とのことです。PCR検査の結果待ちの間、そして一旦陰性と判明した後も、陽性に反転するリスクもあることから、現地で2週間程度の「ホテル等での別室隔離」による療養及び健康観察の期間が必須とならざるを得ないとの情報です。学園生の心身の負担はもとより、保護者の駆け付けや付添いの御負担と心労、更には、感染しているかもしれないとの前提での万全対応が求められ、電車等の公共交通機関を使っただけの帰宅も避ける必要があるとの事です。こうした点も考え合わせますと、宿泊を伴う遠方への修学旅行の実施には大きなリスクを伴いますので、都内又は都外近接地域への日帰り型校外学習への切替えが望ましいとの判断をいたしました。

日帰り型となっても、**学校生活の良き思い出となる豊かな教育活動となるように学校を挙げて力を尽くします**。新たな計画(日程・行先・内容)は7月の全校保護者会時に御説明する予定です。御期待ください。

＜実施＞ 各学年別に1回ずつ計画の校外学習

昨年度11月・3月の保護者会で予告しましたとおり、今年度は、感染予防の視点とオリパラ期間の状況を見ず、宿泊を伴う移動教室は取り止め、各学年1回ずつの校外学習とする形に統一し、9月以降に設定して年間

行事予定表に示してきました。基本的には記載のとおりを実施する方針です。尚、宣言期間中には教員を派遣しての事前実地踏査ができないことから、宣言解除後の7～9月にかけて、必要に応じて最新状況を実地踏査し、再度、安心して学習に出かけられる環境かどうかを確認します。例えば昼食時は、個室又は専有スペースが必ず確保できるか等の観点も重要です。もし、条件が整わなければ、午前中に学校に戻って学校での給食提供や、日程・行先も含めて再計画するなど万全の対応をします。

＜形態の変更＞ 光明祭2021

昨年度は、見通しのつかない中でしたので、安全な環境確保を優先して12月の作品展示のみに絞って実施しました。今年度については、**待望の「舞台発表」を復活します**。ただし、飛沫防止・感染予防の観点から、学年別で作り上げる「映像作品」を体育館壇上の大スクリーンに上映し、参加者に鑑賞していただく方式とします。

都教育委員会の感染対策本部からは、学部・学年合同の教育活動は引き続き自粛するようにとの指示ですので、保護者等御家族の鑑賞機会も学年別入替え制とします。そのためには、開催日程を当初の2日間から拡大し、**11/4(木)も加えた11/4(木)・11/5(金)・11/6(土)の3日間に拡大**します。土曜日は、S小6・中3・高3の卒業学年及び卒業学年を含む本校B部門の発表日とする予定です。開・閉会式は全校放送と映像配信で行います。

尚、土曜日はスクールバス運行日としますので、**本校全通学生の登校日となります**。ですので、11/8(月)が振替休業日であることに変更はありません。

体育館で学年保護者と学園生の同時視聴及び記念撮影の形態を想定していますが、直近の感染状況に応じて、全面オンライン配信による上映への変更も可能です。

作品発表については、舞台発表とは分離し、12月頃の3週間程度の中で、昨年度同様の「1日に付き1学年1家庭程度の御招待方式」による参観時に併せて鑑賞機会を設定します。

そよ風分教室や病院訪問の場で学ぶ学園生は、光明学園の大切な一員として、本校で開催の光明祭2021「作品発表」の部に参加します。

感染予防に万全を図り再計画していきます。光明祭の詳細は、2学期当初にお知らせします。